LIXIL

プログコートフェンス F4型・F5型 取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞

警告

●フェンスは隣地との境界を示す目的で設置するものです。転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。
●がけ上や高台など、転落したらケガをするおそれのある場所には、フェンスを使用しないでください。

注意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●正しく施工，組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。

＜施工上のご注意＞

注意

●現場でブラケットや継手を組付け・締結する場合は、施工後に締結器具を必ず確認してください。締結不良は風による破損・飛散事故の原因になります。
●柱と本体ジョイント部の間隔は200mm以内で施工してください。それ以上離れると耐風圧強度が大幅に低下します。

ポイント

●本体パネルは、現場での高さ切詰めは行えません。
●F4型の傾斜施工は14°（1/4勾配）までとしてください。（F5型の傾斜施工はできません。）

＜施工上の注意＞

⚠注 意

●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当てを行ない、救助を第一に心がけてください。

＜基礎工事について＞

⚠注 意

●コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系混和剤をご使用ください。
●指定基礎寸法は必ず守ってください。
●柱埋込み時には水抜き孔を塞がないように施工してください。柱の腐食が促進されるだけでなく溜まった水が凍結し、破裂するおそれがあります。
●柱の内部にモルタルを詰めたりしないでください。

■梱包明細表

【1】本体セット

名　称	略　図	員数 F4型	員数 F5型
本体パネル		1	1
縦胴縁フタ		2	1
中間連結部材		2	1
縦胴縁キャップ		8	4
中間連結金具		2	1
【1-1】M4×8ナベ小ネジ		2	1
【1-2】φ4×8サラタッピンネジ3種(D=6)		16	8

【2】自在柱

名　称	略　図	員数
自在柱		1
柱キャップ		1
【2-1】φ4×8サラタッピンネジ3種(D=6)		2

【3】切詰め部材セット

名　称	略　図	員数 F4型 T-8	員数 F4型 T-10	員数 F5型 T-8	員数 F5型 T-10
切詰め用縦胴縁		1	1	1	1
切詰め用縦胴縁フタ		1	1	1	1
切詰め端部カバー		1	1	1	1
切詰め端部カバーキャップ		2	2	2	2
【3-1】φ4×13PANドリルネジ		2	2	2	2
【3-2】φ4×13PANドリルネジ※		20	20	20	20

※F4型T-8の場合予備4本、F5型T-8の場合予備6本、
F5型T-10の場合予備2本入っています。

C387_201210C

■梱包明細表（つづき）

【4】ブラケットセットB

名　称	略　図	員　数
ブラケットB		2
ブラケット裏板		2
【4-1】M5×10ナベ小ネジ		2
【4-2】φ4×19PANドリルネジ		2
【4-3】φ4×13PANドリルネジ		4

【5】ストレート継手B

名　称	略　図	員　数
ストレート継手B		2
【5-1】φ4×12トラスタッピンネジ3種(D=8)		4

【6】ストレート継手C

名　称	略　図	員　数
ストレート継手C		2
【6-1】φ4×12トラスタッピンネジ3種(D=8)		8

【7】自在コーナー継手B

名　称	略　図	員　数
自在コーナー継手B		2
【7-1】φ4×12トラスタッピンネジ3種(D=8)		8

【8】コーナー継手A

名　称	略　図	員　数
コーナー継手A		2
【8-1】φ4×12トラスタッピンネジ3種(D=8)		8

【9】切詰め端部キャップ

名　称	略　図	員　数	
		F4型	F5型
切詰め端部キャップ 20×30用		4	―
切詰め端部キャップ 84×30用		―	1
【9-1】φ4×8サラタッピンネジ3種(D=6)		4	2

【10】格子キャップA

名　称	略　図	員　数
格子キャップA		2
【10-1】φ4×10トラスタッピンネジ1種		2
取付説明書	―	1
取扱説明書	―	1
注意シール	―	1

【11】格子キャップB

名　称	略　図	員　数
格子キャップB		2
【11-1】φ4×10トラスタッピンネジ1種		4
取付説明書	―	1
取扱説明書	―	1
注意シール	―	1

【12】壁付け部品B

名　称	略　図	員　数
壁付け部品B		2
【12-1】φ5×12トラスタッピンネジ1種		4
【12-2】φ6×70(+)六角コークスクリュー		4
【12-3】M5×20トラス小ネジ		4
【12-4】φ4.8×45ナベ木ネジ		4
【12-5】M5平座金		4
【12-6】M5ターンナット		4
【12-7】M6平座金		4
【12-8】フィッシャープラグ		4
取付説明書	―	1
取扱説明書	―	1
注意シール	―	1

1. 基本寸法と各部の名称

1-1 F4型基本寸法図

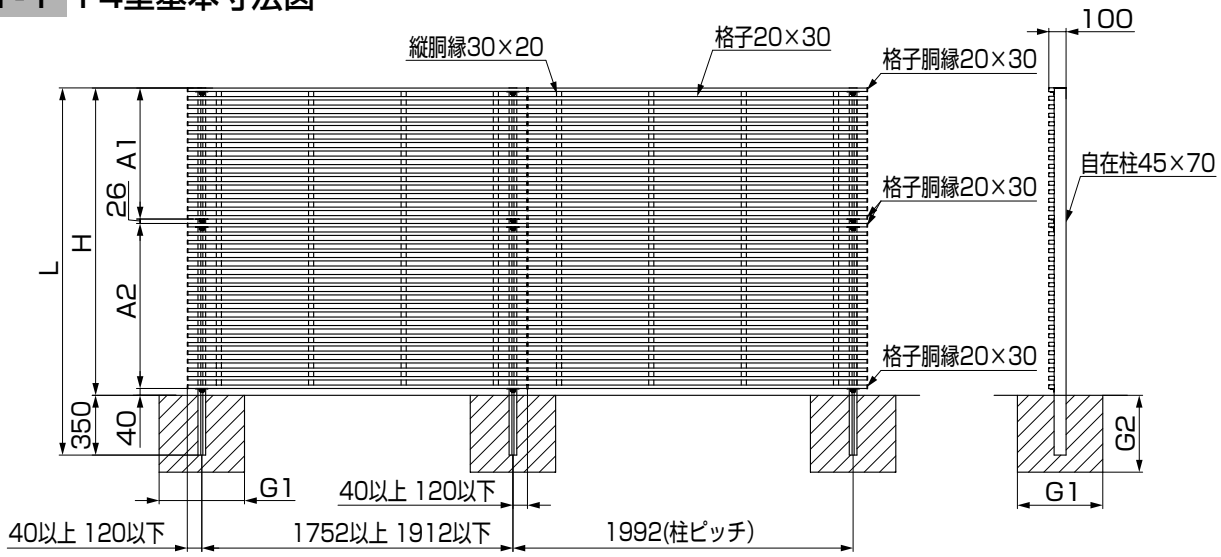


図1-1　水平施工図

表1-1

呼称	H	L	A1	A2	G1	G2
T-16	1600	1950	767(T−8)	767(T−8)	450	350
T-18	1799.2	2150	767(T−8)	966.2(T−10)	500	350
T-20	1988.4	2350	966.2(T−10)	966.2(T−10)	500	450

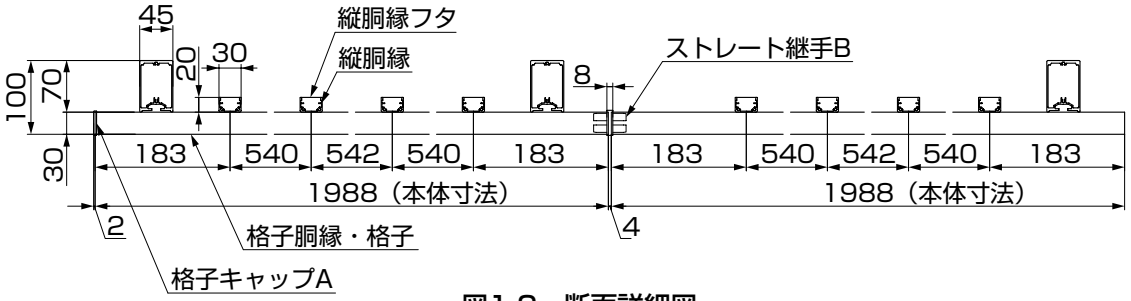


図1-2　断面詳細図

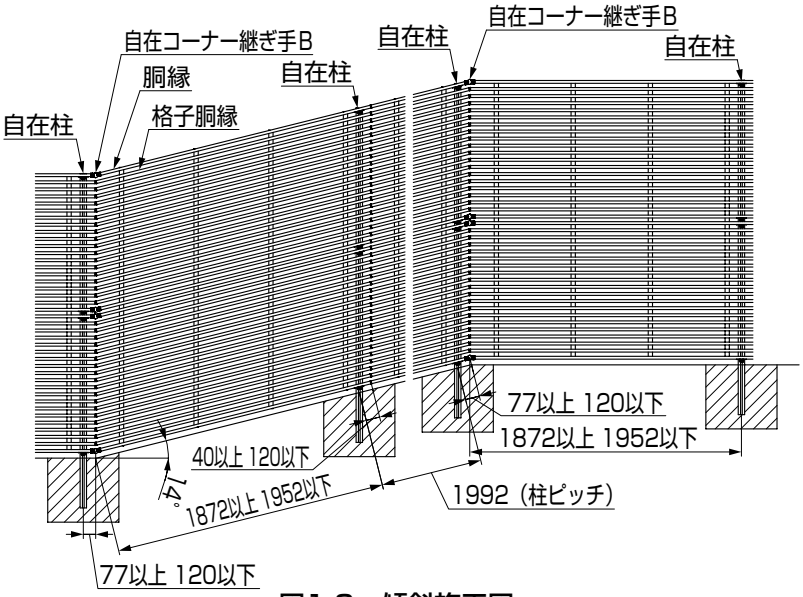


図1-3　傾斜施工図

1-2 F5型基本寸法図

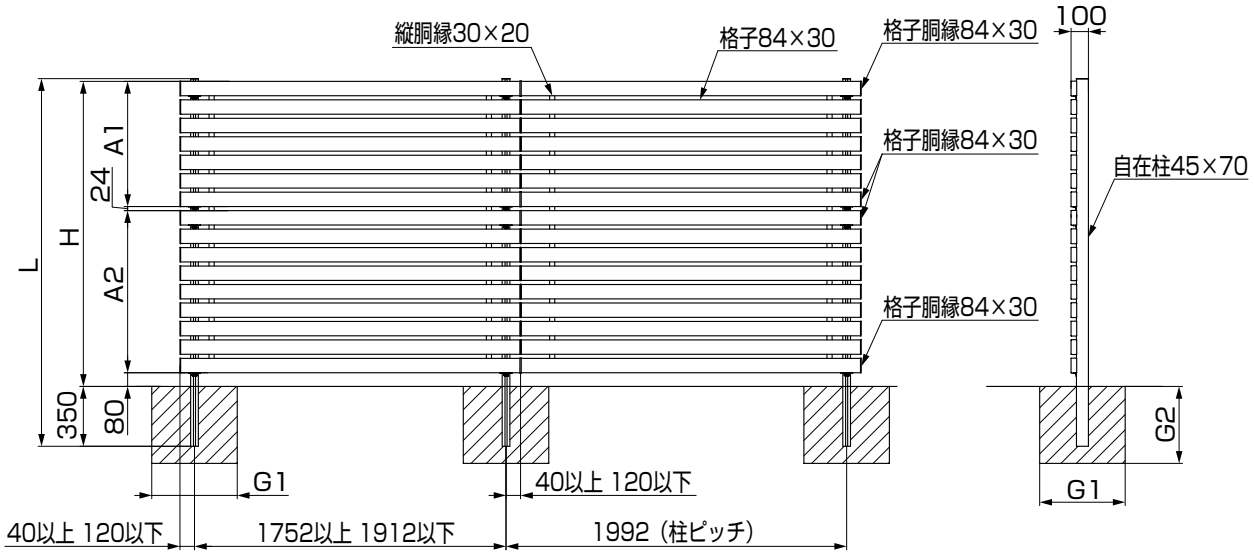


図1-4　水平施工図

表1-2

呼称	H	L	A1	A2	G1	G2
T-16	1568	1950	732(T−8)	732(T−8)	450	350
T-18	1784	2150	732(T−8)	948(T−10)	500	350
T-20	2000	2350	948(T−10)	948(T−10)	500	450

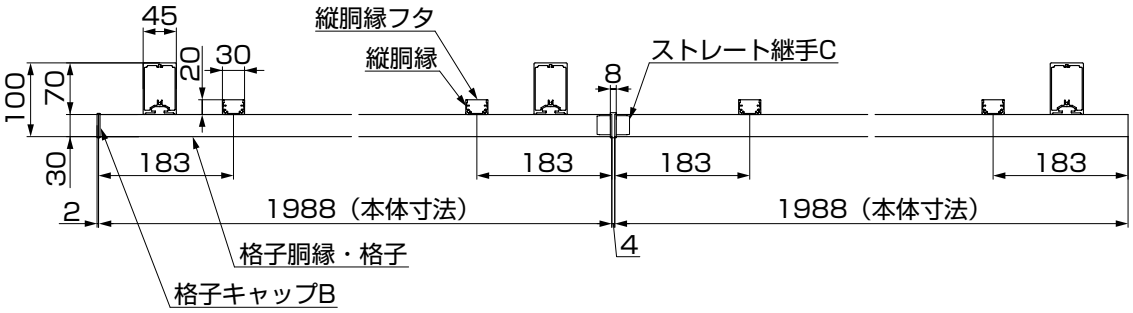


図1-5　断面詳細図

1.（つづき）

1-3 コーナー施工寸法図

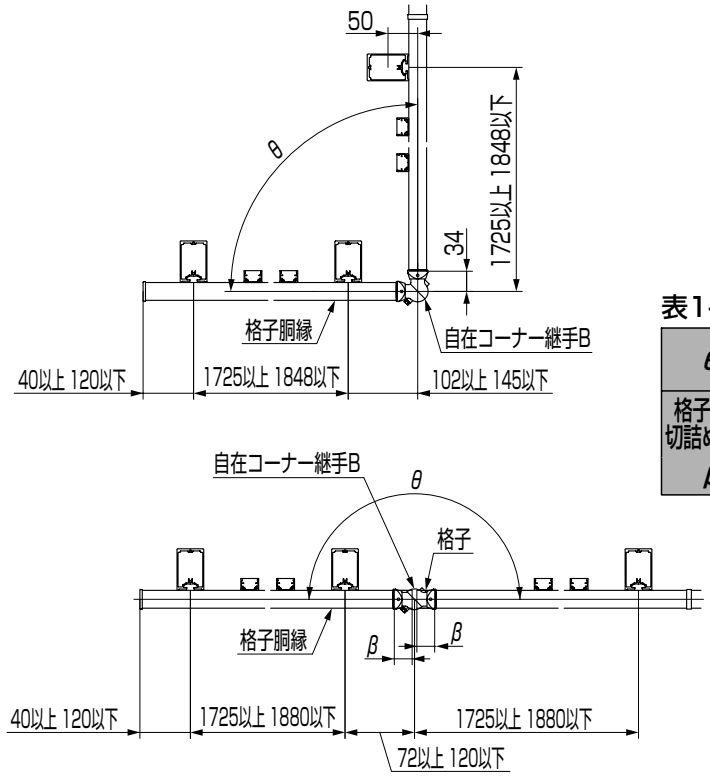


図1-6 F4型

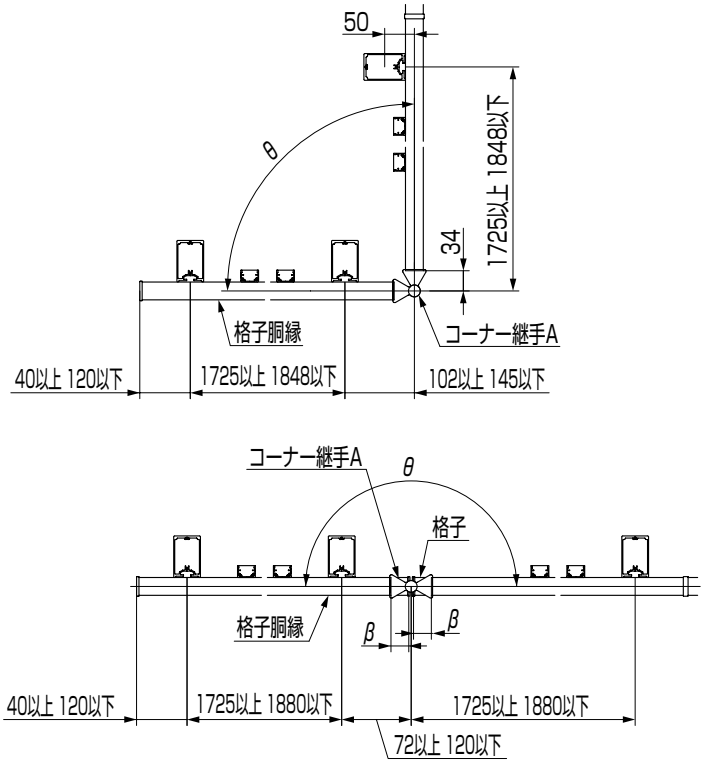


図1-7 F5型

ポイント

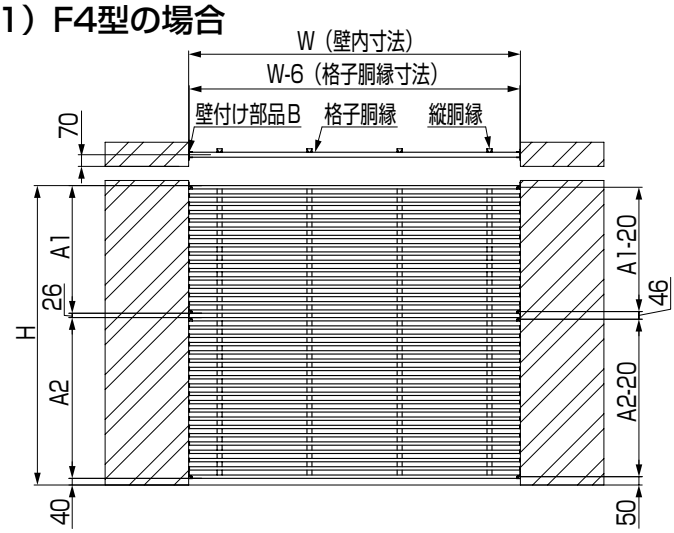
●コーナー施工では、角度によって格子胴縁（本体パネル）の切詰めが必要です。
表1-3を参照して切詰めてください。

表1-3 切断寸法表

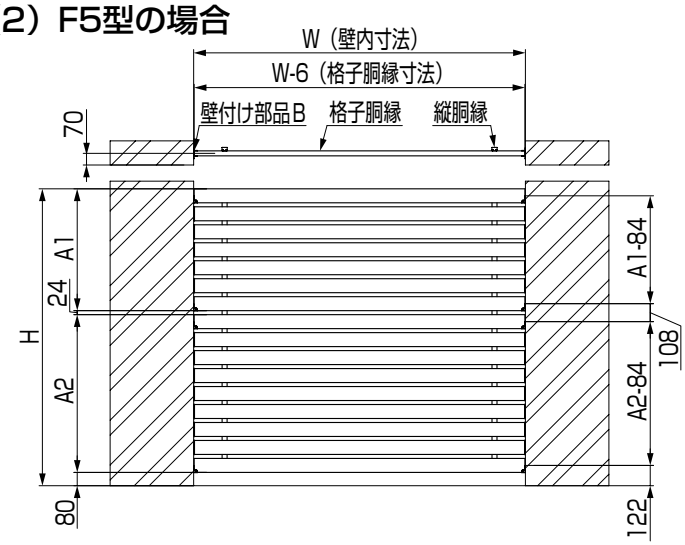
θ	180°	165°以上 180°未満	150°以上 165°未満	135°以上 150°未満	120°以上 135°未満	105°以上 120°未満	90°以上 105°未満
格子胴縁 切詰め寸法 β	30	25	20	15	10	5	0

1-4 壁付け施工寸法図

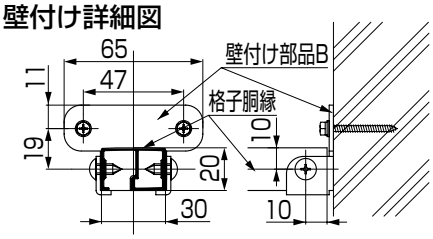
（1）F4型の場合



（2）F5型の場合



壁付け詳細図

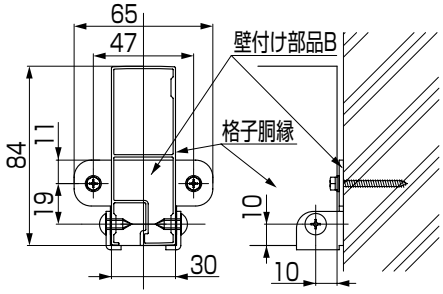


呼称	H	A1	A2
T-16	1600	767(T-8)	767(T-8)
T-18	1799.2	767(T-8)	966.2(T-10)
T-20	1998.4	966.2(T-10)	966.2(T-10)

補 足

- ●規格品の胴縁寸法は1988mmです。
- ●ストレート継手使用時の継手部厚みは4mmです。

壁付け詳細図



呼称	H	A1	A2
T-16	1568	732(T-8)	732(T-8)
T-18	1784	732(T-8)	948(T-10)
T-20	2000	948(T-10)	948(T-10)

補 足

- ●規格品の胴縁寸法は1988mmです。
- ●ストレート継手使用時の継手部厚みは4mmです。

2. 柱の施工

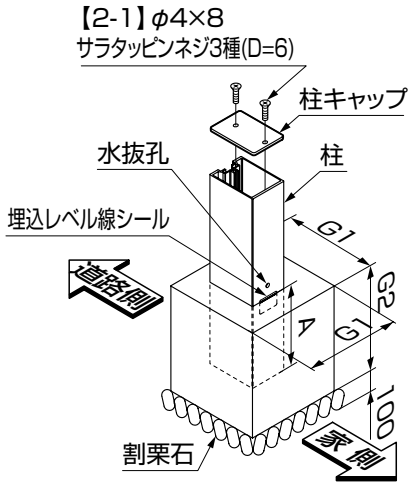


図2-1　独立基礎の場合

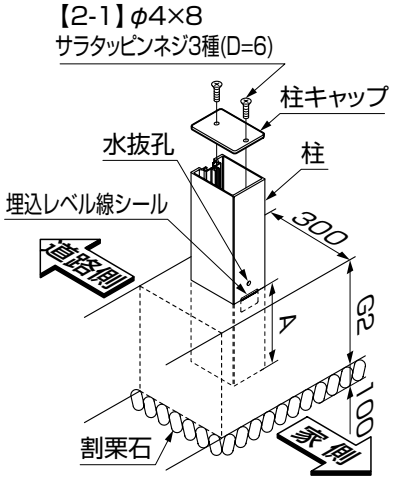


図2-2　連続基礎の場合

①柱キャップを【2-1】で取付けてください。
②基本寸法図を参考に基礎施工を行い、柱をコンクリートで固定してください。

注 意

- ●柱をブロックへ施工しないでください。高尺のため強い風圧を受け、フェンスの転倒事故へつながる原因となります。
- ●基礎が沈降したり傾いたりすることがあるため、必ず割栗石を敷いてください。

ポイント

- ●傾斜施工時は、柱センター部が埋込レベルになるように施工してください。

3. 基本施工

3-1 本体パネル（下）の取付け

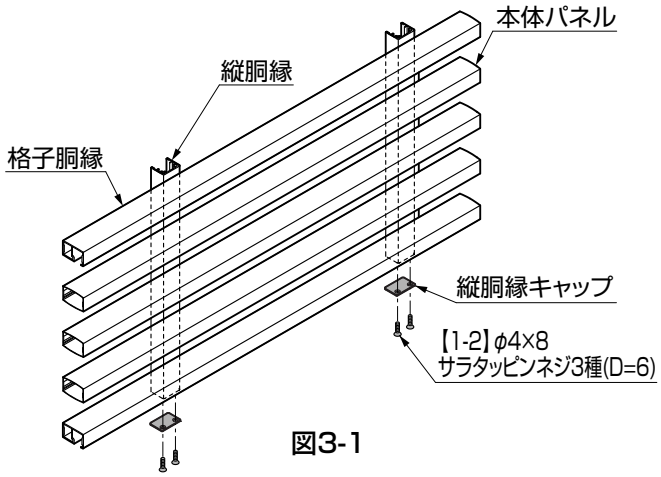


図3-1

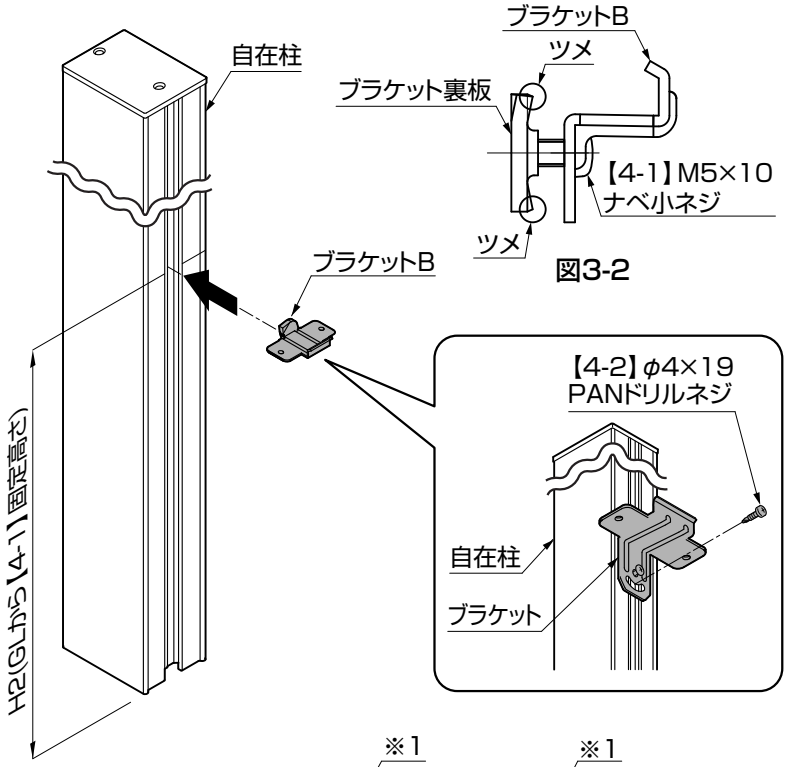


図3-2

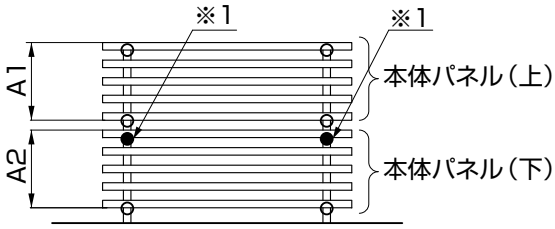


図3-3

表3-1

型	F4型		F5型	
呼称	H2	A2	H2	A2
T-16	780	767(T-8)	721	732(T-8)
T-18	979.2	966.2(T-10)	937	948(T-10)
T-20	979.2	966.2(T-10)	937	948(T-10)

①本体パネル（下）下側の縦桐縁に縦桐縁キャップを【1-2】で取付けてください。

②ブラケットBにブラケット裏板を【4-1】で仮組みしてください。

ポイント

●ブラケット裏板には表裏があります。角部にツメが立っている側をブラケットBに向けてください。

③ブラケットBを柱のH2寸法の高さに取付けて、【4-2】で仮止めしてください。（図3-3、表3-1参照）

ポイント

●本体パネル（下）の上部ブラケットBから取付けてください。（※1）
●裏板が溝の中で回転して、ほぼ横向きになったことを確認してください。
●F4型の傾斜施工時はブラケットを傾斜角度に合わせて取付けてください。

補 足

●縦桐縁キャップは、本体パネルごとにF4型の場合8個入り、F5型の場合4個入りですが、F4型の場合4個、F5型の場合2個それぞれ使用します。

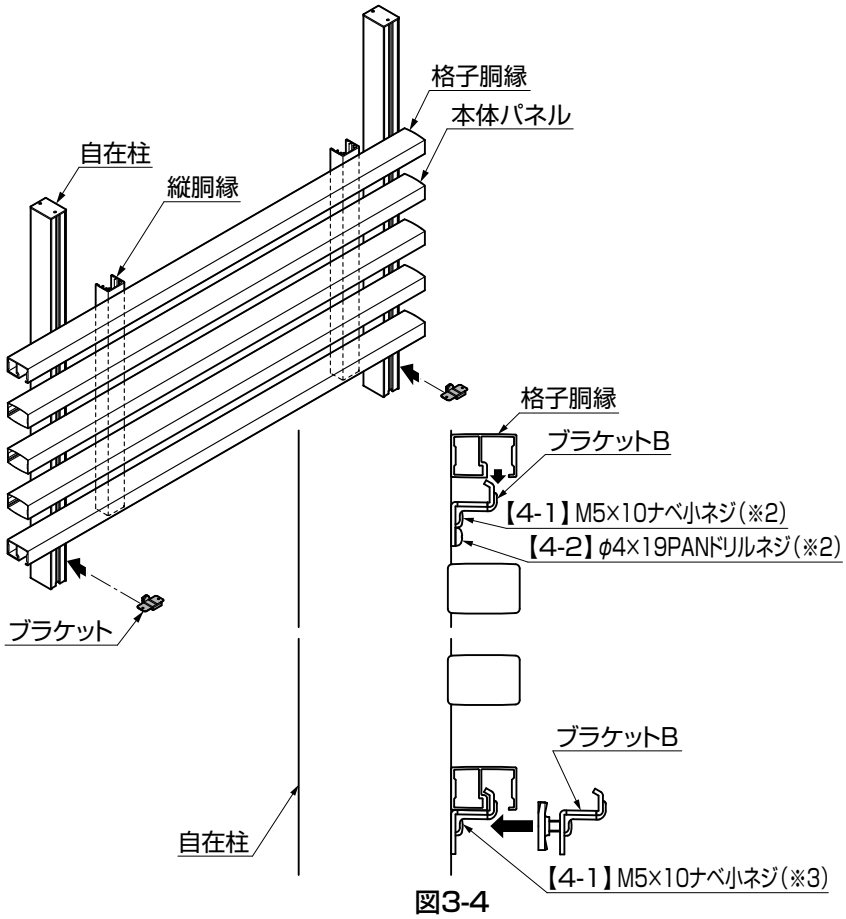


図3-4

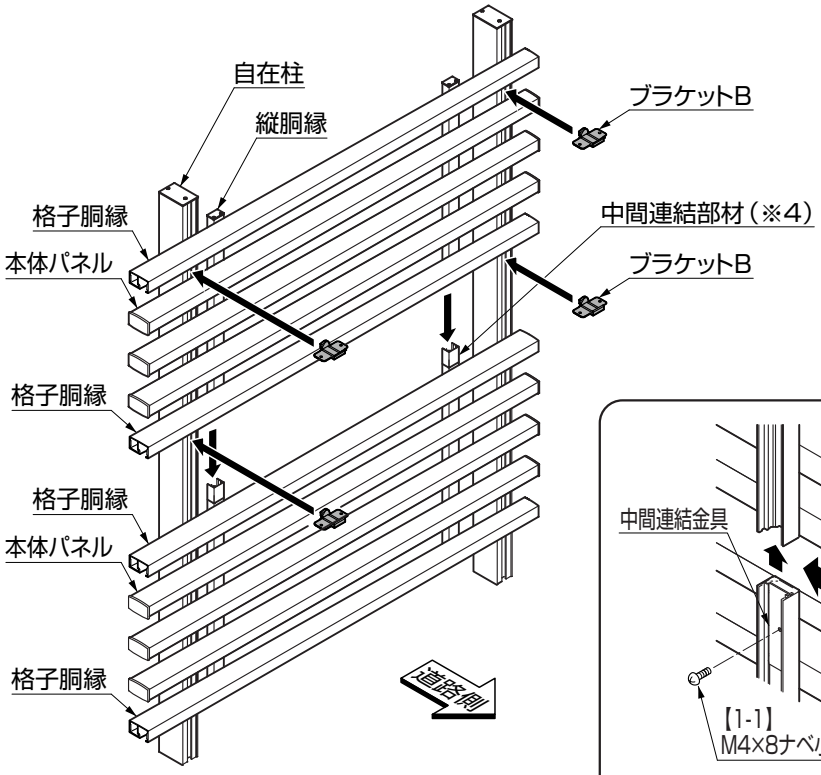
④【4-1】、【4-2】を一旦ゆるめて(※2)、ブラケットBにパネルの最上段の格子胴縁の溝をはめ込み、再び締め付けてください。

⑤パネルの最下段の格子胴縁の溝に、ブラケットBをはめ込み、【4-1】(※3)で柱とパネルの固定を行ってください。(図3-4参照)

ポイント

●コーナー施工の際、格子胴縁を前もって切断する場合があります。
「4.コーナー施工」を参照してください。

3-2 本体パネル(上)の取付け



①本体パネル(下)の縦胴縁に中間連結部材(※4)を取付け、その上に本体パネル(上)を、ブラケットBで柱へ取付けてください。

ポイント

●中間連結金具を本体パネル(下)の縦胴縁内と中間連結部材内にスライドして、【1-1】で固定してください。(図3-5参照)

●F4型の場合4ケ所、F5型の場合2ケ所連結してください。

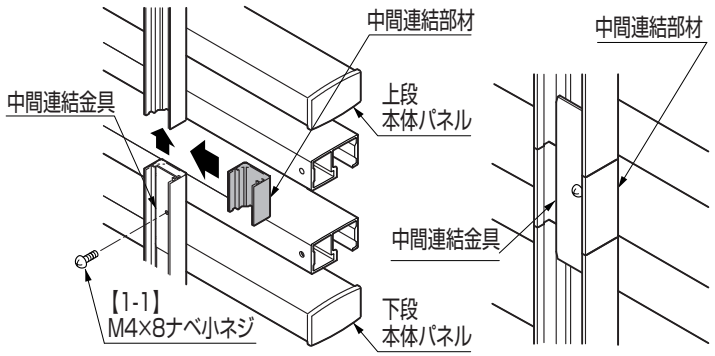
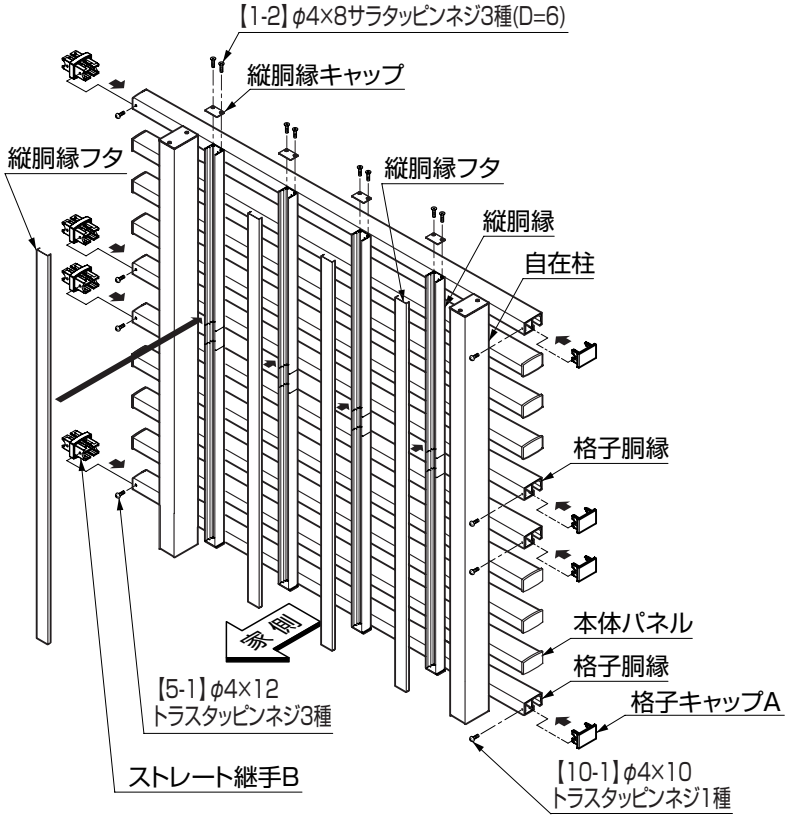


図3-5

3.（つづき）

3-3 ストレート継手と部品の取付け

（1）F4型の場合

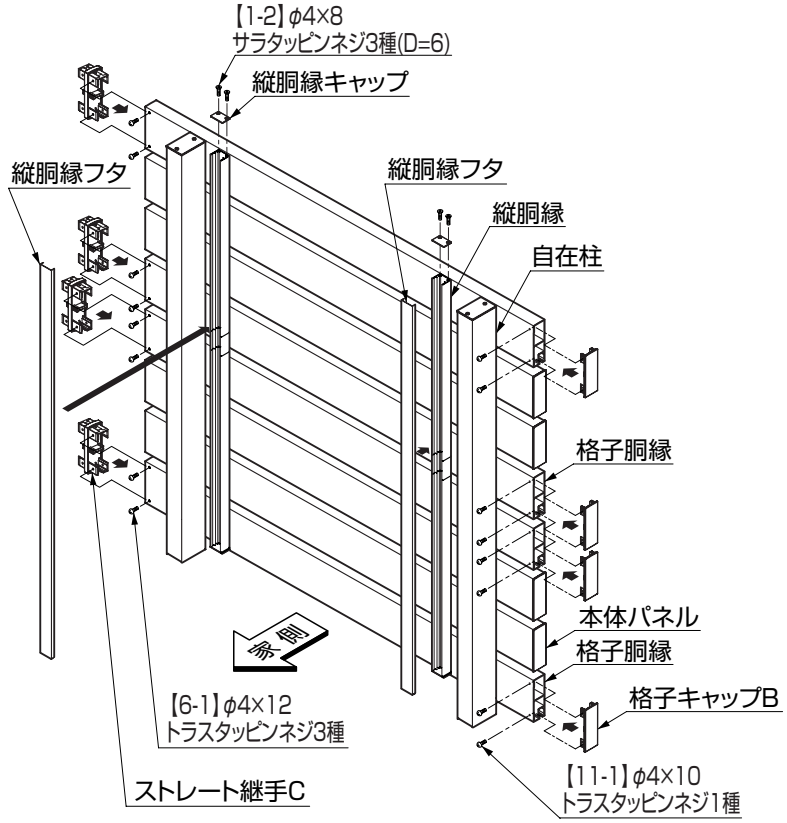


①本体サイズ毎に縦胴縁フタを切断してください。（表3-2参照）
②ストレート継手Bを本体パネルの格子胴縁に【5-1】で取付け、本体パネル同士を連結してください。
③本体パネル端部側の格子胴縁には、格子キャップAを【10-1】で取付けてください。
④本体パネルの縦胴縁に縦胴縁フタをはめ、その小口に縦胴縁キャップを【1-2】で取付けてください。

表3-2

高さ	切断後縦胴縁フタ長さ
T-16	1555.5
T-18	1754.7
T-20	1953.9（切断不要）

（2）F5型の場合

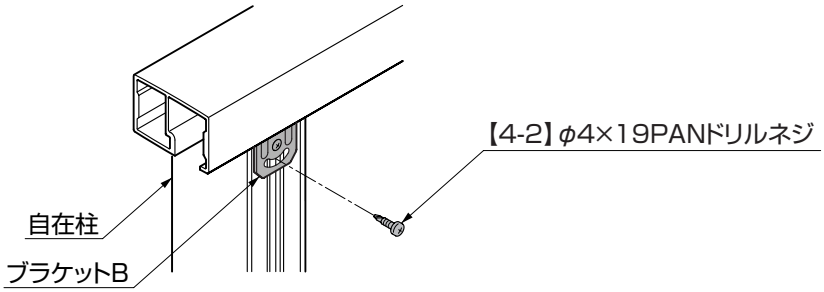


①本体サイズ毎に縦胴縁フタを切断してください。（表3-3参照）
②ストレート継手Cを本体パネルの格子胴縁に【6-1】で取付け、本体パネル同士を連結してください。
③本体パネル端部側の格子胴縁には、格子キャップBを【11-1】で取付けてください。
④本体パネルの縦胴縁に縦胴縁フタをはめ、その小口に縦胴縁キャップを【1-2】で取付けてください。

表3-3

高さ	切断後縦胴縁フタ長さ
T-16	1483.5
T-18	1699.5
T-20	1915.5（切断不要）

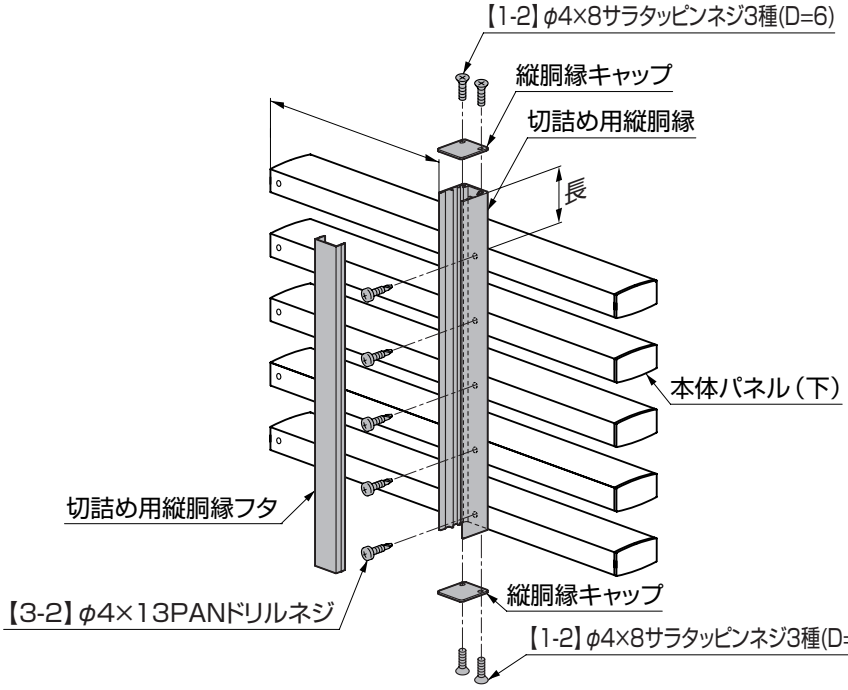
3-4 ブラケットBの固定



④全て正しく施工していることを確認した後、全ての柱とブラケットBを【4-2】で固定してください。

3-5 本体パネルの端部切詰め

（1）切詰め用縦桐縁の取付け



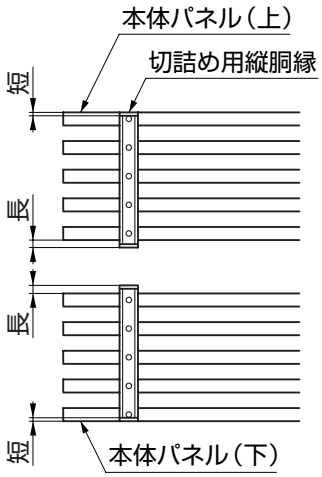


図3-6

①本体パネルの切断位置から200mm以内に、切詰め用縦桐縁を【3-2】で取付けてください。

ポイント

- 切詰め用縦桐縁の取付けには上下の向きがあります。図3-6を参照して取付けてください。
- 図はF4型です。F5型の場合は、各格子毎、2ケ所づつ【3-2】で固定してください。

②切詰め用縦桐縁に切詰め用縦桐縁フタをはめ、その小口に縦桐縁キャップを【1-2】で取付けてください。

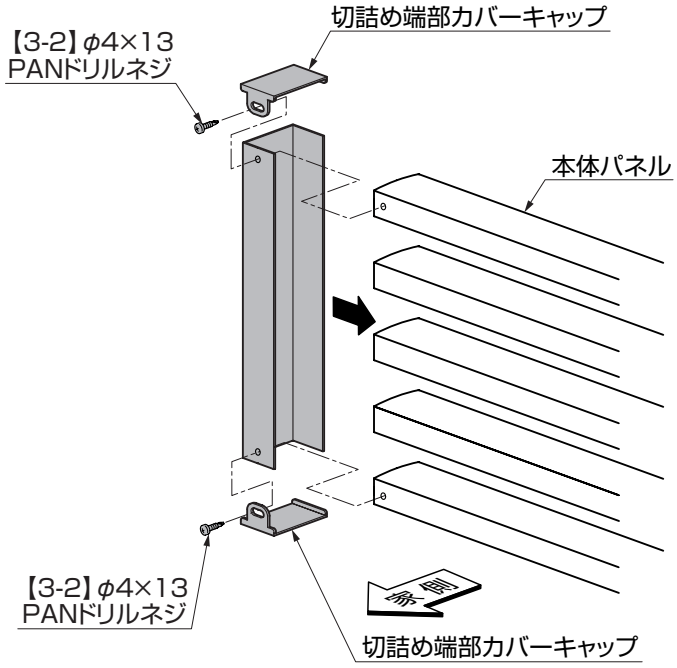
ポイント

- 縦桐縁キャップは、本体パネルセット内に梱包している部品を使用してください。
- 切詰めたパネルの両側を使用する場合は、切詰め部材がもう1セット必要です。

3.（つづき）

3-6 端部処理

（1）切詰め端部カバーによる端部処理



①切断した本体パネルに切詰め端部カバーをはめ、切詰め端部カバーキャップと一緒に【3-1】で取付けてください。

（2）切詰め端部キャップによる端部処理

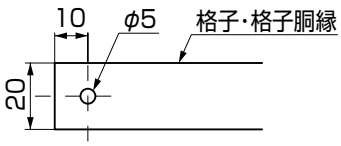


図3-7　F4型の場合

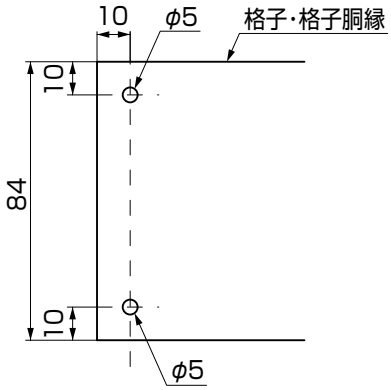
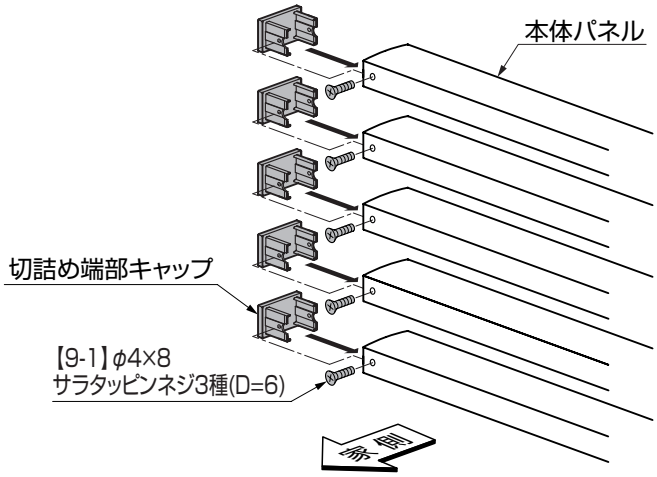


図3-8　F5型の場合

①切断した本体パネルに端部に図3-7にしたがって、φ5の孔を全部の格子･格子胴縁にあけてください。
②格子･格子胴縁に切詰め端部キャップを【9-1】で取付てください。

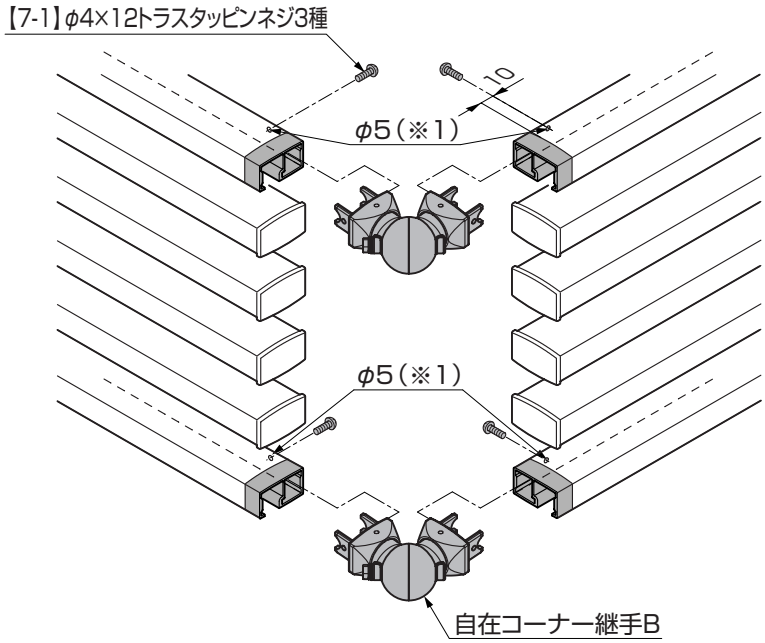


補 足

- 切詰め端部キャップによる端部処理を行った場合、切詰め端部カバーおよび切詰め端部カバーキャップは使用しません。
- 切詰め端部キャップの固定は、F4型の場合1ケ所づつ、F5型の場合は2ケ所づつおこなってください。

4. コーナー施工

4-1 F4型コーナー施工



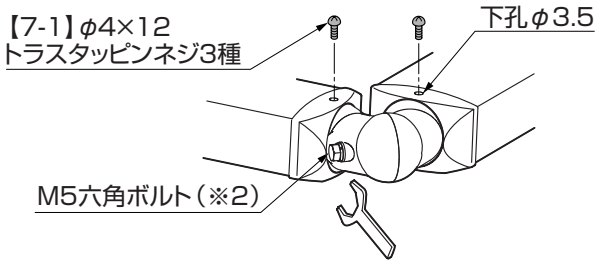


図4-1

ポイント

- ●コーナー部のすき間を小さくするために、格子胴縁の切断を行う場合があります。P6の表1-3を参照してください。
- ●切断した後で格子胴縁の内面に、端部から10mmの位置にφ5の孔を開けてください。（※1）

①本体パネル同士の格子胴縁に自在コーナー継手Bをはめ込み【7-1】で取付けてください。

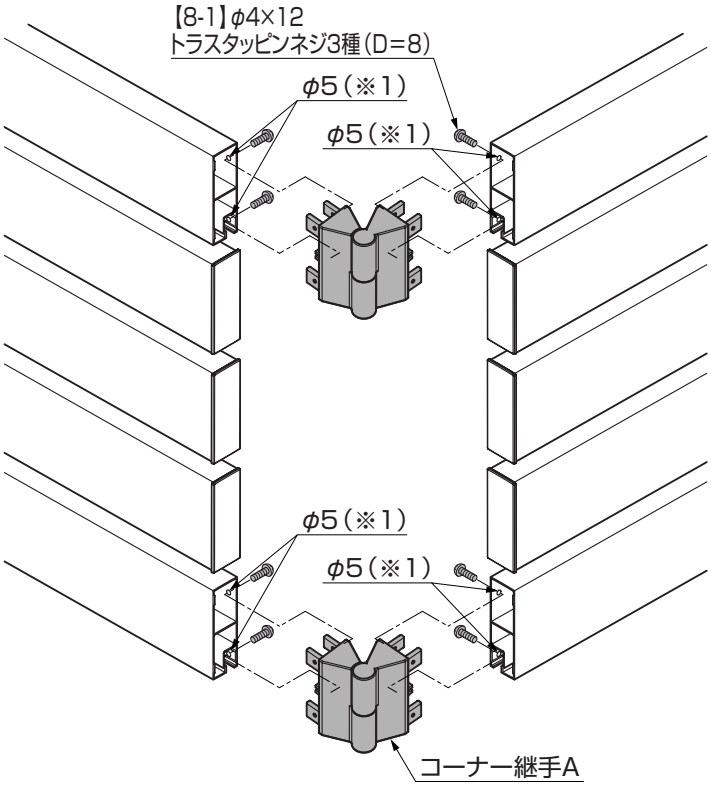
ポイント

- ●自在コーナー継手Bは（※2）のボルトを緩め、各部品を回転することで3次元に向きを変えることができます。

②全て正しく施工していることを確認した後、（※2）のボルトと【7-1】で自在コーナー継手Bを固定してください。（図4-1参照）

4. （つづき）

4-2 F5型コーナー施工



ポイント

- ●コーナー部のすき間を小さくするために、格子胴縁の切断を行う場合があります。P6の表1-3を参照してください。
- ●切断した後で格子胴縁の内面に、端部から10mmの位置にφ5の孔を2ケ所開けてください。（※1）

①本体パネル同士の格子胴縁にコーナー継手Aをはめ込み【8-1】で取付けてください。

ポイント

- ●コーナー継手Aは（※2）のボルトを緩め、各部品を回転することで2次元に向きを変えることができます。

②全て正しく施工していることを確認した後、（※2）のボルトでコーナー継手Aを固定してください。（図4-3参照）

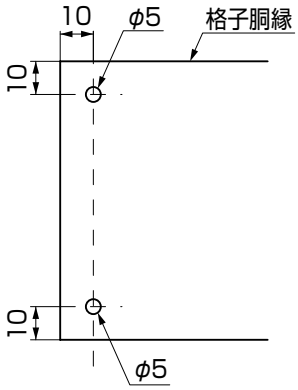


図4-2

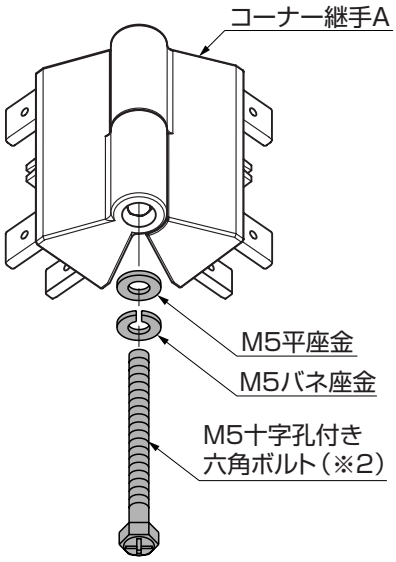


図4-3

5. 壁付け施工

5-1 壁付け部品Bの取付け位置

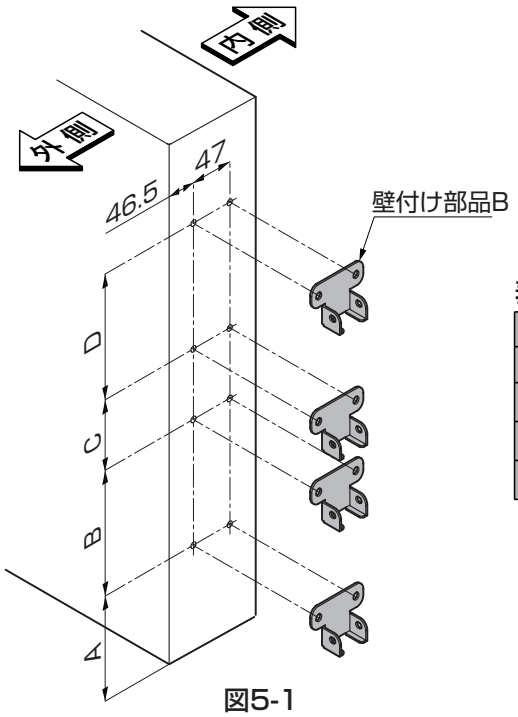


図5-1

表5-1

型	F4型				F5型			
呼称	A	B	C	D	A	B	C	D
T-16	69	747	46	747	109	648	108	648
T-18		946.2		747		864		648
T-20		946.2		946.2		864		864

ポイント

●壁付け部品Bの取付く位置に充分な強度があることを確認してください。

5-2 壁付け部品Bの取付け

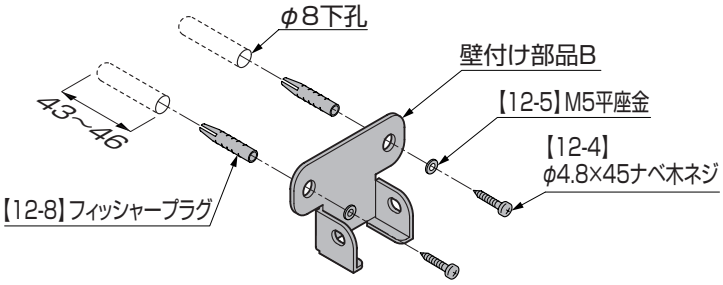


図5-2 コンクリート取付けの場合

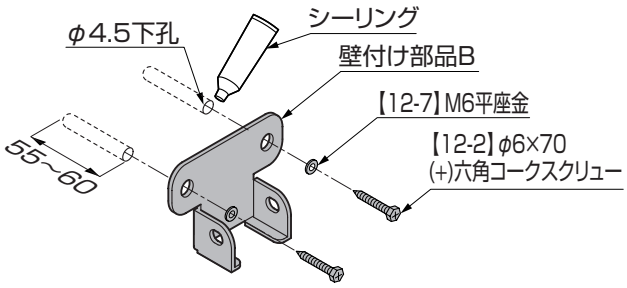


図5-3 木造取付けの場合

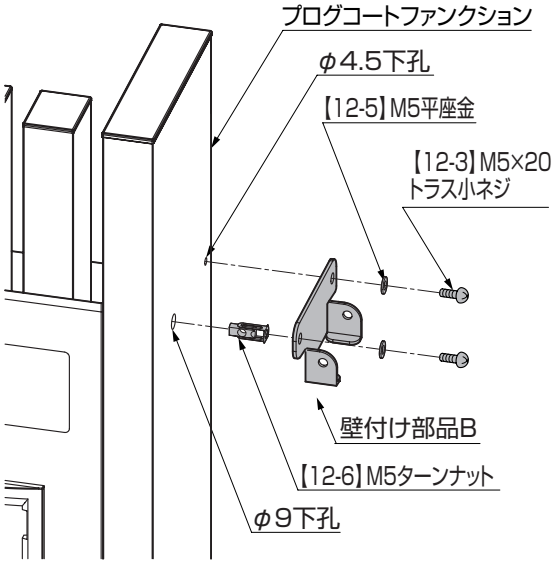
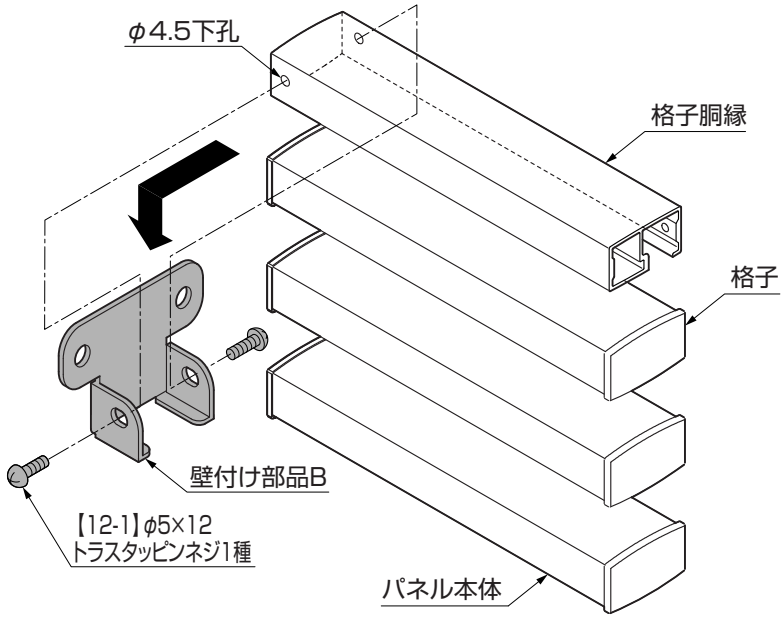


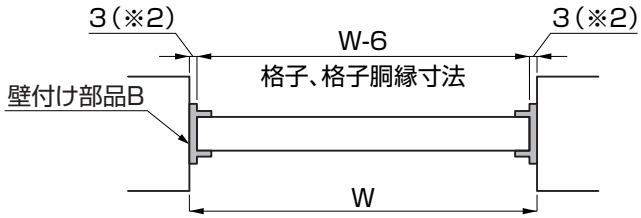
図5-4
プログコートファンクション取付けの場合

①図のように、取付ける材料に合わせた部品で壁付け部品Bを取付けてください。

5. （つづき）

5-3 本体パネルの取付け



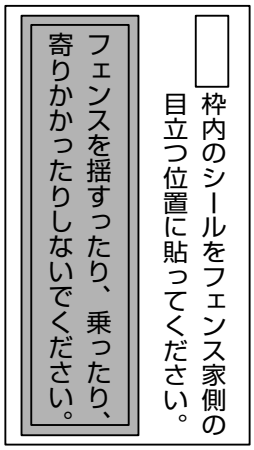


①本体パネルの格子胴縁にφ4.5の下孔を図の位置にあけてください。
②本体パネルの格子胴縁を壁付け部品にのせ【12-1】で取付けてください。

ポイント

- ●F5型の場合、下孔は下側のみにあけてください。
- ●格子胴縁の長さは、取付面から片側で3mm短くします。（※2）
- ●規格品の格子胴縁のL寸は、1988mmです。

6. 注意シールの貼付け



①必ず注意シールをフェンス本体または柱の家側の目立つ位置に貼ってください。

注 意

- ●注意シールは、施主様に安全に使用していただくために必要です。

取説コード
C387

JZZ617935C
200902A_1001
201605D_1049